

社会科の授業づくり（単元全体を通した） 社会科は「つかむ」「しらべる」「まとめる・生かす」の学習過程が生命線

1 つかむ

「学習問題」や「ねらい」を明確に

①資料提示 興味関心を喚起し、好奇心をくすぐる資料提示

②読み取り できる限り多くの意見をノートに書かせる

この絵を見てわかったことや気づいたこと、思ったことを箇条書きで書きましょう。

- 書かせる個数に目標を
例「3個以上書いてみよう/3個かけたら合格」
- 書く時間を十分にとる
- 出された意見を認める・褒める

意見の板書

③学習問題を見出す

板書を整理・分類 → “何を調べたいか” → 自分なりの学習問題として再構成 → 予想を立てる

2 しらべる

ポイントは「調べ方の指導」と「十分な時間」

①調べる方法 文字よりもできるだけ多くの体験を

調べる内容や時間を考慮し、どの方法が予想を確かめるのに効果的か事前に調べておきましょう。

HPは事前に下調べし、ページを指定して閲覧させるようにする。

効率的に調べられるよう、個人・ペア・グループ等の活動単位も明確にする。

②調べたこと ノートやワークシートに書かせる

直接体験が難しければ、動画や写真による間接体験でもよい。実感を伴うことが大切！

3 まとめる・生かす

調べたことをもとに話し合い、おさえるべきことは教師の言葉で確実に！

①学習問題の結論を導き出す 話し合いで思考力・表現力を高める
調べたことや、持ち寄った資料をもとに話し合い、互いの考えを深めていく。

②社会との関わりを考える これから自分はどうするか？
ノート・作文・新聞・PowerPointなどに考えをまとめ、まとめたことを発表する。

この学習過程（児童生徒が自ら問題を見出し、解決するためのプロセス）は単元全体でも一単位時間でも活用可能です。社会的事象をいかに自分事としてとらえさせるかが授業成功のポイントです

単元の学習過程の例

5年 これからの食料生産とわたしたち

つかむ 昔と今の朝食の比較写真から読み取りをする。

学習問題 これからの食料生産はどのようにしたらよいか。

しらべる 消費量の変化・輸入量の変化・自給率の変化等

話し合い ・食料品の輸入は増やすべきか減らすべきか
・食料自給率を高めるにはどうしたらよいか等

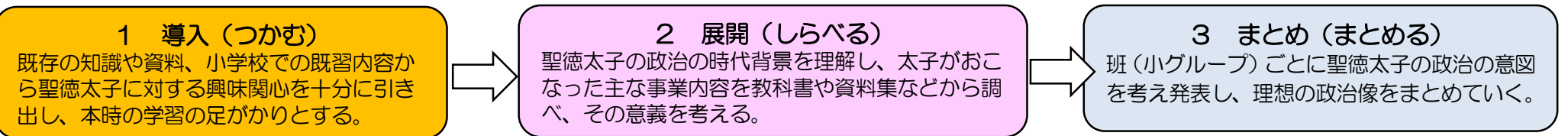
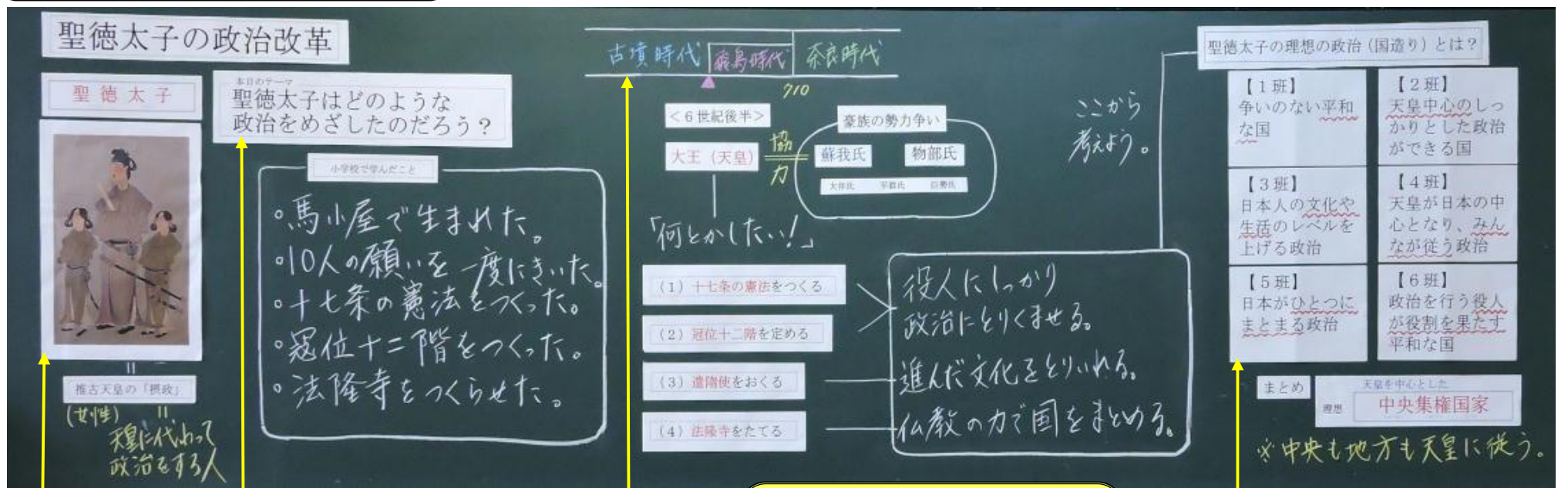
まとめる 「これからの食料生産」について意見を出し合う。
大切な内容は教師がおさえながらまとめる。

社会科の授業づくり(一単位時間)

社会の授業は「導入に始まり、導入に終わる」
◇授業展開を一つのストーリーに◇

事例教材
中学校1年 社会「歴史的分野」
古代国家の歩みと東アジア世界
『聖徳太子の政治改革』

内容の取扱い（学習指導要領より）
律令国家の確立に至るまでの過程は、聖徳太子の政治、大化の改新から律令国家に至るまでの過程を、小学校での学習内容を活用して大きくとらえさせる。

聖徳太子の政治改革

今日のテーマ 聖徳太子はどのような政治をめざしたのだろうか？

小学科で学んだこと

- 馬小屋で生まれた。
- 10人の願いを一度にきた。
- 十七条の憲法をつけた。
- 冠位十二階をつけた。
- 法隆寺をつくらせた。

古墳時代 飛鳥時代 奈良時代

<6世紀後半>

大王(天皇) 協力

蘇我氏 物部氏

大伴氏 宇麻呂氏 日牟禮氏

「何とかしたい！」

- (1) 十七条の憲法をつくる。
- (2) 冠位十二階を定める
- (3) 遣隋使をおくる
- (4) 法隆寺をたてる

役人ばかり政治に与りかせる。
進んだ文化をとりいれる。
仏教の力で国をまとめる。

聖徳太子の理想の政治(国造り)とは？

【1班】 争いのない平和な国	【2班】 天皇中心のしっかりとした政治ができる国
【3班】 日本人の文化や生活のレベルを上げる政治	【4班】 天皇が日本の中心となり、みんなが従う政治
【5班】 日本がひとつにまとまる政治	【6班】 政治を行う役人が役割を果たす平和な国

まとめ 天皇を中心とした理想 中央集権国家
※中央も地方も天皇に従う。

インパクトのある資料により、生徒の学習意欲を高める。

本時の学習テーマを明確にし、学習の方向性の焦点化を図る。

本時が歴史的流れの中でどのような位置にあるのかを明示する。

板書の工夫
○学習内容を構造的に示し、授業の流れを確認できるように。
○色をつけて軽重をわかりやすく。

発表ボードなどを利用し話し合い活動をさせ、言語活動の充実を図る。

【社会科の授業を組み立てる上で考慮すること】

①授業のねらいを明確にすること (必ず黒板に明記する)	②資料を精選すること (見る・聴く・触る、常に資料発掘の目を持つ)
③地理と歴史の関連を図ること (学習の融合に視点を置く)	④小中の連携を図ること (小学校の学習内容を確認し、生徒の学習状況を計る)
⑤言語活動の充実を図ること (思考・表現活動を大切に)	⑥本時の展開を振り返ることができる板書計画を練ること (ビジュアルで構造的な板書が望ましい)

掛け地図
社会科の雰囲気醸し出す必須アイテムとして毎時間掲げるとよい。

